

5.3 山梨護憲の集い

5月3日の憲法記念日、山梨県立図書館の多目的ホールで、5.3 山梨護憲の集いが開かれました。主催は「山梨護憲の集い実行委員会」で、構成団体は社会民主党山梨県連合、山梨県平和センター、新社会党山梨県本部、みどり・山梨の各団体です。まず主催者から社会民主党山梨県連代表の山田厚甲府市議会議員の挨拶があり、宮沢由佳参議院議員の連帯の挨拶のあと、「安倍政権における医療制度改悪とは？」と題した中島克仁衆議院議員の講演に入りました。

山田厚さんは挨拶の中で、9条の平和とともに25条に基づく社会保障や医療も護憲の大切な課題であると述べ、問題を提起しました。中島克仁さんは、今もなお、医師として医療の現場に立たれていますが、講演はその医療や介護が立ち行かなくなっている現実を鋭く訴えるものでした。

講演の中で、安倍政権は「地域包括ケアシステム」、「介護離職ゼロ」、「地域医療構想」など看板は大きく掲げるが、一方で財源をどんどん縮小し制度は改悪されて掛け声の良さとは「真逆」の政策が進んでいることを、具体例を挙げて明かしました。

そして地域社会の維持に欠かせない公正であるべき社会保障に、経済の効率性を優先する考え方が持ち込まれているとし、「制度は維持しても、私たちの暮らしは破壊されてしまう」という危惧も述べられました。

講演後にリレートークがあり、自治体、教育、農業などの現場から報告がなされ、それぞれで抱える課題が提起されました。閉会後は、北口・よっちゃばれ広場の「5.3 憲法集会 in やまなし」のイベントに合流、予想を超える多くの人で賑わっていました。（赤荻記）

